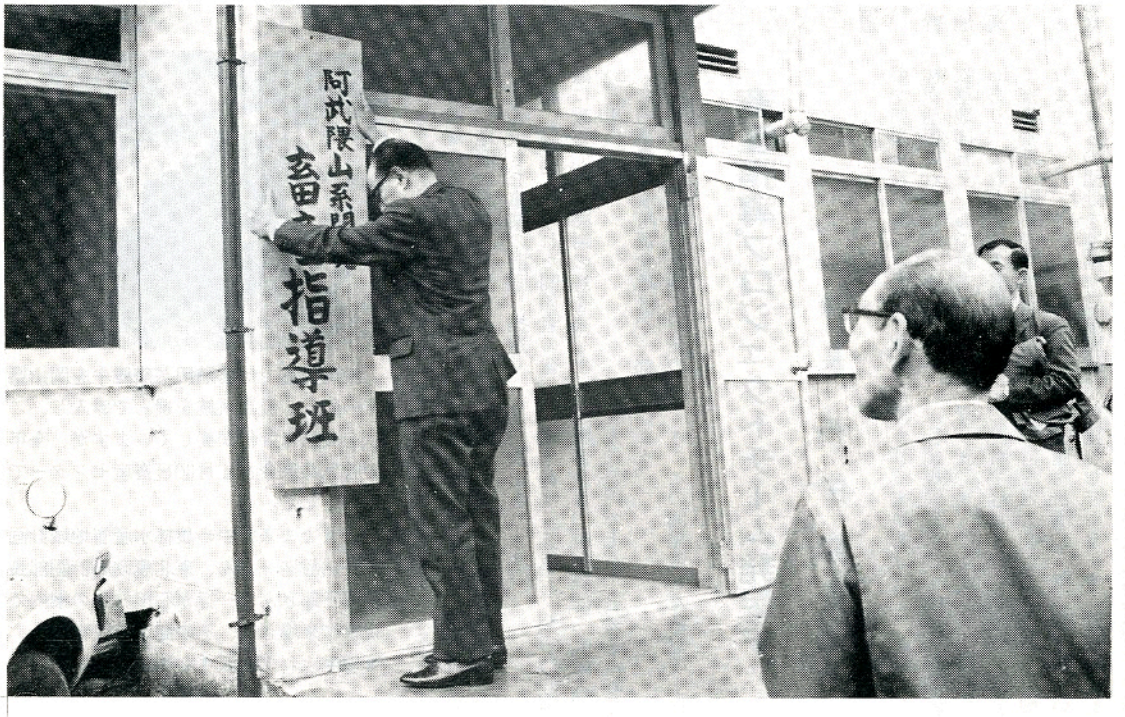
広報 さめがわ

昭和55年
5月号
No. 317
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



畜産指導班の事務所に掲げた大きな看板

国の財政投融資で農用地開発公団が実施した阿武隈南部区域の畜産基地開発事業は、昭和50年に現地で着工してから、5年の歳月と35億1千余万円の国費を要して完成しました。

この事業で開発された村内464ヘクタールの草地に新しい畜産が育成されてゆくことになります。

村ではこの事業を指導援助するとともに、村内畜産全体のレベルアップを推進するため、青年研修所に阿武隈山系開発畜産指導班を設置し、4月21日開庁式を行いました。

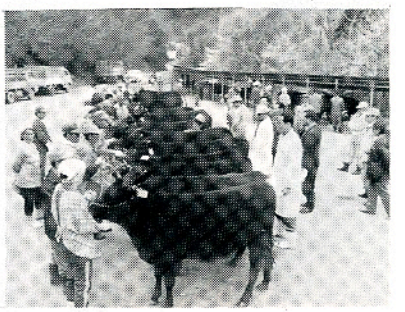
- ⊙ 1日　交通事故ゼロの日　シートベルト着用の日
- ⊙ 第3日曜日　家庭の日
- ⊙ 26日　交通事故相談日　棚倉町中央公民館
- ⊙ 26日　固定資産税　第1期　納期限

今月の人口

（5月1日現在）

人口	5,671	(＋4)
男	2,832	(－1)
女	2,839	(＋5)
世帯	1,151	(＋4)





鮫川農協では繁殖用基礎雌牛を岡山県その他から優良系統を選んで導入し、これを農家に貸付飼養していますが、今年の管理共進会を4月30日畜産センターで開きました。

たまたま来村中の農林水産省地域計画課長川村浩一さん、東北農政局計画部長福岡三郎さんの一行が石田村長の案内で視察に来場され、その健康な成育ぶり、管理手入れの立派さを賞讃されました。

たき火をする時は届け出を

乾燥した日が毎日続いて各地に大きな火災が発生しています。特に、山火事には注意して下さい。

◎ たき火や火入れをする時は、必ず消防署の許可をうけること。
◎ たき火をした跡は完全に消すこと。
◎ たき火をする時は消火バケツを用意すること。
◎ たき火や火入れは風の強い日はやめること。
◎ 山ではタバコの火に注意すること。
◎ 家を留守にして仕事に出る時は、必ず火の元の安全をたしかめること。

棚倉消防署鮫川分署

おめでた

三　月

上耕地　近藤　史恵　父近藤昌文

四　月

青生野　森田　浩二　父森田敏男
石　井　中川西　暁　父中川西美好
岡　田　舟木　功二　父舟木　功
大　平　関根さゆり　父関根芳一
福　原　蛭田　恵里　父蛭田俊樹
発地岡　高野久美子　父高野富一
関　口　藤田　恵美　父藤田一成

おくやみ

四　月

		年齢	世帯主
菅　田	関根　金二	45歳	関根一子
戸　草	三瓶　アキ	86歳	三瓶正司
大石草	有賀　ウメ	71歳	有賀忠男
青生野	岡部　リキ	77歳	岡部　傳
真　坂	緑川　重明	70歳	緑川昌美
菅　田	生田目スイ	58歳	生田目正次
滑　石	阿久津良兄	76歳	阿久津一衛
戸　倉	関根　信政	69歳	関根信一

おはなのちみ (13)

畜産指導プロジェクトチーム発足す

村長　石田卯子八

農用地開発公団法による広域農業開発事業―呼びなれている名称では阿武隈山系開発事業が、去る三月一杯で終りました。

昭和四〇年の秋、初めて東白川郡阿武隈山系開発期成同盟会をつくって運動展開以来一五年の歳月を経過したことになります。

今では山系を縦貫する国道三四九号線、南部を横断する国道二八九号線がほぼ全線舗装され、これに接続する村道、林道、幹支線農道が整備されて、この地域の発展を阻害した要因、交通不便は解消された感があります。

新しい畜産を育てる基盤である放牧、採草、乾草供給、肥育の各牧場が各団地に占有面積を拡大し、地形山容が一変しました。

この大きな事業の計画、推進、参加、施行に当られた関係者の皆様に改めて深く感謝の意を表したいと思います。

この事業は塙町那倉地区の一部を含め、八二五haの土地に開発の手が加えられ、内二九九haの国有林が活用されました。開発された牧草地は五三一haで村内に四六四haあり、これが第三の農用地として畜産基地の基盤をなすものであります。

これらの団地を連絡する道路は舗装された幹線二路線、支線の砂利道一六路線で、延長は計二一、九一四mあります。

事業費は三五億一、七〇〇万円と概算され、村内分は二七億六、九九二万円で七八・七%を占めています。

さてこの開発された基盤の上に営まれる畜産業は、二〇頭ないし三〇頭規模を目ざす肉用牛繁殖経営。五〇頭一〇〇頭一八〇頭規模の肥育牛経営。三〇頭規模の搾乳牛経営など大型化された新しい型の畜産を目標に、既にたくましい出発をしておりますが、特に頼もしいのはこの事業に若い有能な後継者が意欲的に取りくんでいることであります。

村はこの事業の健全な成長を援助するとともに全村の畜産指導を濃密化するため、四月から阿武隈山系開発畜産指導班を編成して相談指導の機能を強化することにしました。

いわゆるプロジェクトチームで畜産センター所長をトップに、経済課の技術職員、農協の畜産指導員などで構成し、更に国の白河種畜牧場で飼料課長を勤められた野口長二氏を嘱託に迎え、全村の畜産農家に懇切な相談と指導が行きわたるような活動体制を整えたわけであります。

この趣旨をご理解のうえ、十分活用されることを期待するものであります。

6日のゴミ収集日　江竜田～中野町～彦次郎～広畑～新宿（新宿橋まで）

可燃物　毎週月・木
不燃物　2日・16日・30日

子どものとび出しによる交通事故が多くなっています

最近、子どものとび出し、飲酒運転、村外での交通事故が多くなっています。お互いに注意して交通事故をおこさないように、またあわないように注意しましょう。

◎車を運転する人

一、歩行者を見かけたら徐行しましょう。

二、安全なスピードで運転しましょう。

三、飲酒運転は絶対にしないこと。

四、シートベルトを着用しましょう。

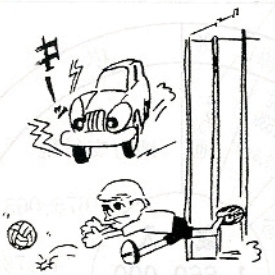
五、ゆずり合いの精神で運転しましょう。

◎歩行者

一、子どもを連れて歩くときは必ず手をつなぎ、道路の外側を歩かせましょう。

二、道路へ急にとび出さないようにしましょう。

三、子どもを、道路で遊ばせないよう注意しましょう。



花いっぱい運動に花の種子を

篤志の宗田秀郎さんから

心を豊かにし、生活にうるおいをもたせようと、村内の各種団体が自主的な花一ぱい運動をすすめています。

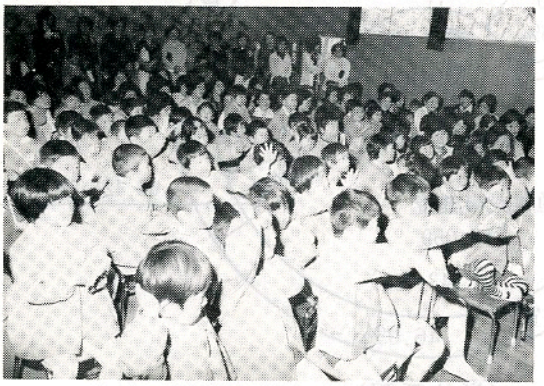
昨年は老人クラブ商工会婦人部の方々が県道添いや村の施設等にサルビアの苗を奉仕作業で植付け村民の皆さんによろこばれました。

今年は広畑の宗田秀郎さん（鮫中教諭）が村中にきれいな花を咲かせたいとマリーゴールドの種子を自家採種して、段ボール箱一ぱいの種子を役場に寄託されました。

村ではこれを各種団体や学校等に配付して花いっぱい運動を一層広く普及するよう計画していますのでご協力をおねがいします。

種子を寄託された宗田さんの篤志に厚くお礼申し上げます。





鮫川保育所は定員60名が今年は90名となり、大変にぎやかな入所式になりました。

渡瀬保育所は60名、西山児童館は48名の入所です。

幼稚園は50名の入園児があり、幼児保育の施設は各所とも満員で、職員の苦労も容易でありませんが張り切って仕事に当っています。

国民年金の特別納付

6月30日で締め切りです

国民年金の特例納付は、あと二か月で締切られます。あなたの年金権は大丈夫ですか。

国民年金に加入しなければならないのに加入していない人や保険料を長期間滞納しているために、老令年金が受けられなくなっている人はいませんか。このような人は、是非特例納付を利用し、過去の滞納期間をうめ、年金を受ける資格を確保しましょう。

あなたにとって特例納付することが、将来、年金が受けられるか、受けられなくなるか最後の別れ道です。せっかくの機会です。是非特例納付を利用しましょう。

今一度、納め忘れの保険料がないか、確かめてください。

くわしいことは村役場住民課へ問合わせください。

最後のチャンス



6月のゴミ収集日　新宿（新宿橋から）～道少田～大塩コース

可燃物　毎週火・木
不燃物　2日・16日・30日

昭和55年度一般会計予算　16億6千万円

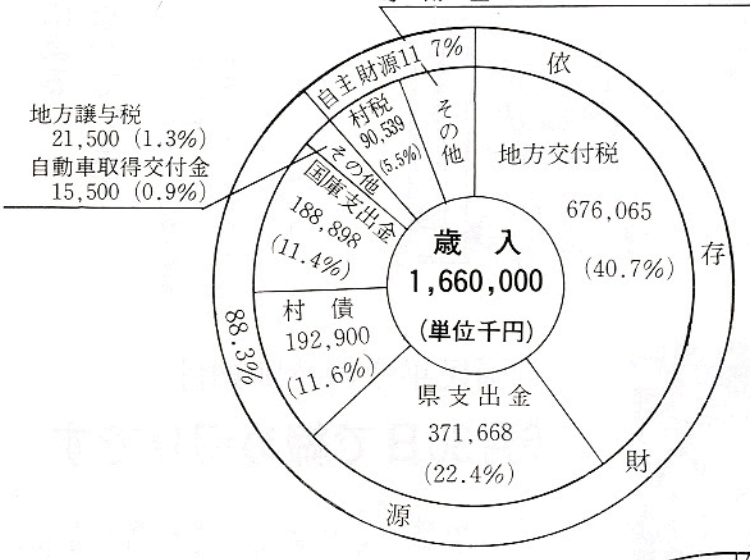
昭和五五年度の予算と重点事業

昭和五五年度の村の当初予算は三月定例村議会で成立しました。

本年度は、新農業構造改善事業（五か年）の初年度に当たり土地基盤整備事業、集落センター建築などが予定されています。

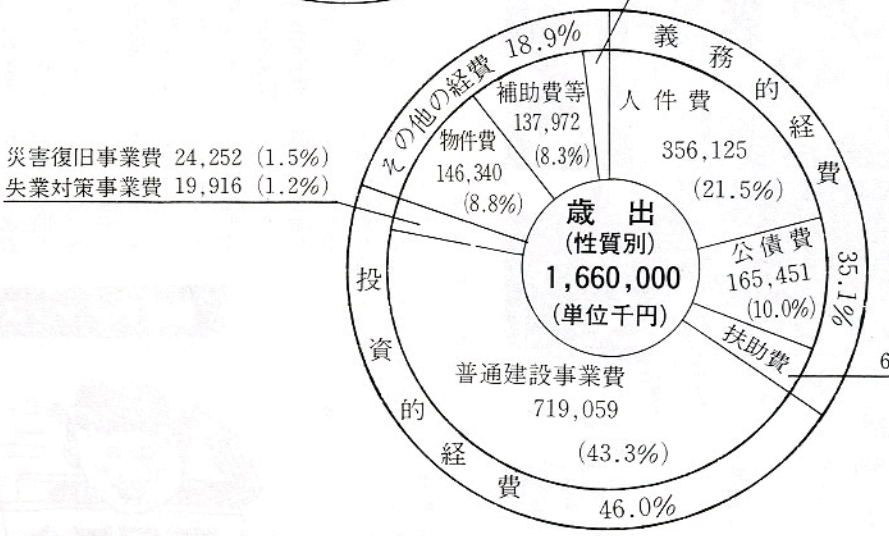
歳入歳出の予算額、計画されている重点事業は次のとおりです。

繰入金	55,000	(3.3%)
使用料及び手数料	15,325	(0.9%)
繰越金	14,000	(0.8%)
諸収入	6,975	(0.4%)
財産収入	6,561	(0.4%)
分担金及び負担金	4,277	(0.3%)
寄附金	792	(0.1%)



地方譲与税 21,500 (1.3%)
自動車取得交付金 15,500 (0.9%)

繰出金	13,073	(0.8%)
維持補修費	8,027	(0.5%)
積立金	6,466	(0.4%)
貸付金	360	(—)
投資及び出資金	269	(—)
予備費	2,269	(0.1%)



災害復旧事業費 24,252 (1.5%)
失業対策事業費 19,916 (1.2%)

扶助費 60,421 (3.6%)

昭和55年度 特別会計予算額

(単位千円)

会計名	55年度当初予算額	54年度当初予算額	伸び率%
国民健康保険特別会計(事業勘定)	235,928	224,808	4.9%
国民健康保険特別会計(直診勘定)	52,723	53,473	△1.4%
簡易水道事業特別会計	8,983	8,973	0.1%

6月のゴミ収集日　真坂～茅～酒垂～宝木～水口～官沢コース　不燃物　11日・25日

昭和55年度重点事業

□ 教育文化の振興施策　386,087千円

1．幼児教育の振興

幼稚園舎の新築に伴ない独立運営とする

2．義務教育施設の充実

◎鮫川小学校舎第2期建築工事
鉄筋構造3階建　1,226㎡
スクールバス1台購入

3．社会教育、社会体育の振興

公民館、開発センターの一体的運営
体育協会の活動強化

4．歴史民俗資料館の建設

鉄筋構造一部2階建



□　昭和54年度から2ヶ年計画で改築している鮫川小学校の新校舎のうち第1年度分の工事が竣工しました。残りは55年中に完成予定。

□ 住民福祉施策　157,069千円(一般会計)

1．児童福祉施策

鮫川保育所、渡瀬保育所、西山児童館の運営
運営費　64,769千円

2．老人福祉施設

家庭奉仕員、さぎり荘負担、老人クラブ育成
老人医療扶助費　25,615千円

3．母子福祉施設

母子健康センター運営

4．年金児童手当等の確保

5．国民健康保険事業の健全運営（特会）

国保　235,928千円
直診　52,723千円

□ 魅力ある居住環境づくり施策

1．村道整備事業　152,270千円

(1) 過疎対策事業　4線
- 官沢余所内線（改良）　延長 1,000m
- 田尻関口線（改良）　延長 350m
- 菅ノ目浅川線（ほ装）　延長 600m
- 遠ケ竜戸草線（ほ装）　延長 700m

(2) 辺地対策事業　2線
- 中沢関口線（改良）　延長 400m
- 火打石浅川線（改良）　延長 300m

(3) 臨時村道整備事業　5線
- 寅卯平富田線（ほ装）　延長 500m
- 新宿古殿線（ほ装）　延長 500m
- 関下世々麦線（ほ装）　延長 500m
- 山口官代線（改良）　延長 300m
- 富田小学校線（ほ装）　延長 80m

(4) 電源立地対策事業　1線
- 巡ケ作宿ノ入線（ほ装）　延長 700m

2．国県道県営事業　20,000千円

国県道県営事業負担金

3．林道整備事業　63,340千円

(1) 公共林道　1線
- 大久保後田中線（開設）　延長 2,000m

(2) 総合整備林道　1線
- 大戸中松倉線（改良）　延長 600m

(3) 間伐林道　1線
- 木戸沢大石草線（開設）　延長 1,000m

(4) 県単林道　4線
- 岩野草下線（ほ装）　延長 400m
- 高岩線（開設）　延長 250m
- 荻ノ沢線（開設）　延長 200m

(5) 森林資源開発事業　1線
- 作業道開設　延長 400m

4．農道整備事業　15,080千円

(1) 県営農道　2地区
- 遠ケ竜地区（補修）　延長 400m
- 葉貫地区（ほ装）　延長 500m

(2) 県単農道　1地区
- 岩野草地区（整備）　延長 300m

(3) へき振農道　1地区
- 余所内地区（整備）　延長 200m

5．環境衛生

東白川地方衛生処理組合事業負担金 12,241千円
簡易水道事業現施設運営、新規調査継続

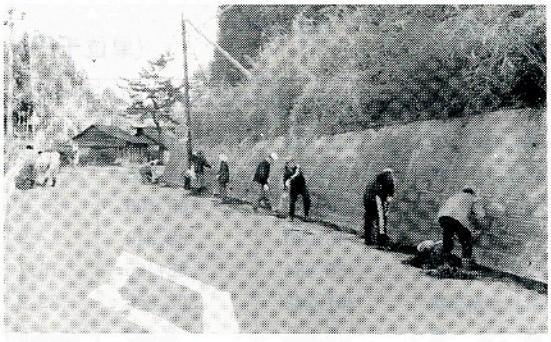
6．消防施設整備事業　12,330千円

- 消防ポンプ自動車　1台
- 小型動力ポンプ　1台
- 防火水そう　3基

歳出　（目的別）　（単位千円）

款	55年度当初予算額	54年度当初予算額	伸び率%
1議会費	42,623	41,884	1.8
2総務費	147,706	148,048	△ 0.3
3民生費	157,069	149,405	5.1
4衛生費	45,090	38,240	17.9
5労働費	30,884	26,465	16.7
6農林水産業費	391,242	302,840	29.2
7商工費	5,651	5,859	△ 3.6
8土木費	199,782	138,386	44.4
9消防費	61,872	49,276	25.6
10教育費	386,087	334,248	15.5
11災害復旧費	24,252	17,098	41.8
12公債費	165,473	134,190	23.3
13予備費	2,269	2,061	10.1
歳出合計	1,660,000	1,388,000	19.6

6月のゴミ収集日　越虫～青生野～戸草～蕨ノ草～官代～遠ケ竜コース　不燃物　13日・27日



今年の春の道路愛護作業は４月29日村内一斉に行われました。この日は例年の通り村内全戸洩れなくの奉仕作業で、側溝の泥が整理され、雑草が刈取られ、砂利道は路面が補修されて、見ちがえるほどきれいになりました。



４月21日郵便週間の行事として鮫川郵便局の一日郵便局員の女性３名が村長室を訪問して分厚い郵便物の束を村長に手渡しました。村長からねぎらいと感謝のあいさつがありました。



昭和55年初老会から各行政区に区の旗が寄贈されることになり、初老会代表の前田栄さんから各区長さんに手渡されました。

村内の交通事故　（55．４．30現在）
発生　４件。死亡　０人．負傷者６人
村内居住者が村外でおこした交通事故
（55．４．30現在）　５件

昭和55年度重点事業（つづき）

□新しい産業構造の確立と育成施策

１．新農業構造改善事業　175,614千円
(1) 土地基盤整備事業　２地区
塚本地区16.6ha、岩野草地区10.9ha
(2) 集落センター建設事業　３棟
西山地区　鉄骨造　162㎡
赤坂中野地区　鉄骨造　162㎡
富田地区　木造　148㎡
(3) 運動広場建設事業　１地区
渡瀬地区　10,000㎡
(4) 生産組織施設整備事業
葉たばこ育苗施設　３棟　1,209㎡
管理棟　１棟

２．転作基盤合理化促進事業　14,144千円
区画整備及び暗きょ排水　６地区　554ha

３．畜産振興対策事業　22,832千円
(1) 肉用牛集約生産基地育成事業
畜舎建築　青生野地区
(2) 肉用牛繁殖中核経営育成推進事業
肉用牛購入　60頭
(3) 乳用牛群整備促進事業
乳用牛購入　10頭
(4) 優良基礎雌牛貸付事業
黒毛和種　３頭

主婦のパートと税金

最近は、パートで働く主婦が多くなっていますが、主婦のパート収入も金額によってはご主人の税金に影響があったり、主婦自身にも税金がかかったりすることをご存じですか。

たとえば、通常夫が妻を扶養している場合、夫の所得から配偶者控除（二九万円）が受けられますが、主婦のパート収入が年収七〇万円（月平均約五八、三〇〇円）を超えるとこの配偶者控除が受けられなくなります。

また、主婦のパート収入がもっと多くなりますと、配偶者控除を受けられなくなるだけでなく、主婦のパート収入にも税金がかかることになります。

パート収入と所得税の関係をまとめると次の表のようになります。

（白河税務署）

パートの年収	夫の所得から配偶者控除が	パート収入に所得税が
七〇万円以下	受けられる	かからない
七〇万円以上七九万円以下	受けられない	かからない
七九万円以上	受けられない	かかる

６月のゴミ収集日　石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース　不燃物　６日